

眼精疲労(正常眼圧緑内障)

患者様情報

来院されるまでの症状

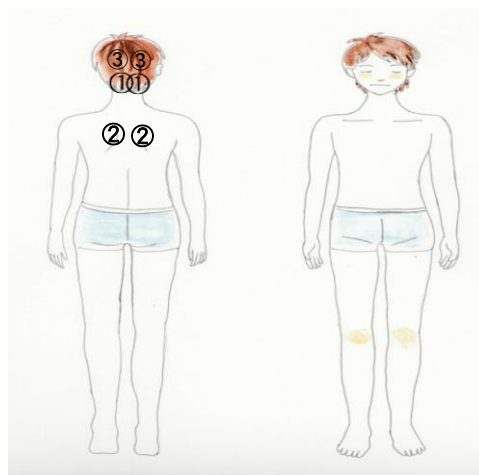
- ・数年前から両目の眼精疲労と緑内障に悩んでいたそうです。
眼圧の数値は通常内の10～12mmHgで、左目は視野欠損があるそうです。
- ・緑内障が悪化してから首こり、肩こりにも悩まされていて、時々緊張性の頭痛の症状もあるそうです。
- ・長く通院していた鍼灸院が閉院してしまい、近所の「鍼灸専門」のホームページで検索して、秀鳳にご来院頂きました。

患者様	60代 男性
初診	2021年 4月
既往症	緊張性頭痛、慢性胃炎、不眠症（浅眠）
他の症状	首こり、肩こり、腰痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・初診時、緑内障の悪化から左の緊張性頭痛の症状を訴えていました。
- ・首から肩にかけて強い筋緊張があり、少し押さえただけでも痛みがある状態でした。
- ・鍼を刺入すると「天柱」「膏肓」に強い筋緊張がみられ、ハードグミのような感覚があったので、ゆっくりと鍼を動かして強い筋緊張をゆるめていきました。「脳戸」に優しいお灸をして、一回目の治療を



■ 初診後の経過

- ・初診後、視界が明るいと仰っていました。
- ・現在、眼圧は9mmHgで安定していて、左の視野欠損も落ち着いているとのこと。
- ・お仕事が忙しいとのことで、月に2～3回メンテナンスで来院していただいています。

使用した主要なツボ

- ①天柱（テンチュウ） ②膏肓（コウコウ）
③脳戸（ノウコ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・スマートフォンやPCの普及で目を酷使される方が増えています。
緑内障は40歳以上の20人に1人が悩んでいる疾患になります。
- ・緑内障は進行性で、障害された視神経を回復する方法は確立していないといわれています。
手術も普及していますが、鍼灸治療は副作用がなく、血流循環を良くし、涙の量も増えることで有効とされています。